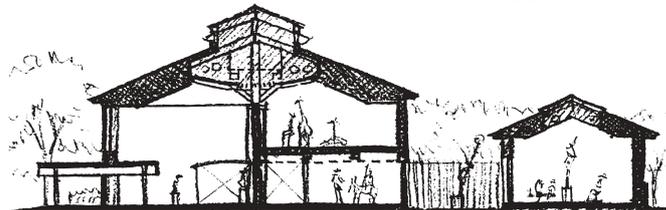




あさご芸術の森美術館  
— 淀井敏夫記念館 —

2019/4  
第60号

美術館だより  
友の会だより



青野 正「森の記憶」(1995年) / コールテン鋼 / H300×W500×D240cm  
朝来2001野外彫刻展 in 多々良木'94(第1回) 大賞作品

森は多くのことを記憶している。太古からの生命の営みを。人は森と共に生きてきたのだ。(図録の制作意図から抜粋)  
※今号から、あさご芸術の森の野外作品を紹介します。

開催中の  
企画展

## 五十嵐健太 写真展

～飛び猫・フクとマリモ・ねこ禅～

〈会期〉5月6日(月・祝)まで好評開催中 〈会場〉2階企画展示室

五十嵐健太氏(1984年～)は、千葉県出身の写真家で、これまでに10万点以上の猫の写真を撮影してきました。五十嵐氏がカメラを通して写し出す世界は、本来猫が持つ野性的で躍動的な部分と、猫特有の「きまぐれ」な性格を愛らしさとともに表現しています。単純に「かわいい」だけではなく、思わずほほ笑んだり、食い入るように見つめたりと、いつの間にか五十嵐ワールドに引き込まれてしまいます。

また、彼の撮った写真は文具や印刷物などに多数採用され、特に写真集「飛び猫」「フクとマリモ」は、テレビや新聞など数多くのメディアでも取り上げられ、これまでに出版した猫の写真集の累計発行部数は10万部を超え、話題となっています。このほか猫に関するイベントの企画を行うなど、猫に対する彼の熱い思いが伝わってきます。

本展では「飛び猫」「フクとマリモ」「ねこ禅」の3タイトルから約150点の作品を展示しています。ぜひ、猫の持つ魅力を引き出した作品を存分にお楽しみください。きつとりこになりますよ。



五十嵐健太  
ギャラリートーク  
&サイン会開催!

5月6日(月・祝)  
14:00～

※サイン会には写真集が必要です。

開催中の  
企画展

## 野外彫刻の軌跡展

〈会期〉5月6日(月・祝)まで好評開催中 〈会場〉1階アトリエ室

これまであさご芸術の森周辺には様々な野外彫刻作品が設置されてきました。特に美術館を中心として、日本でもまれな人工物(ロックフィルダム)と自然と作品が融和したアート空間へと変遷を遂げてきました。そんな芸術の森の芸術作品設置の先駆けとなったのが「朝来2001野外彫刻展in多々良木」です。まだ「あさご芸術の森美術館」が開館する前から、芸術の森を作るという思いにより始まった、この野外作品の公募展では、多くの作家が応募し、審査を通して、個性豊かで優秀な野外作品が少しずつ数を増やしていきました。そんな芸術の森の歴史を「朝来2001野外彫刻展in多々良木」の優秀マーケット作品(模型)を通して振り返ります。



## あさご芸術の森美術館開館20周年記念企画 「淀井敏夫展～伝え、紡いだもの～」

〈会期〉**5月18日(土)～7月7日(日)** 〈会場〉**1階アトリエ室**

「あさご芸術の森美術館—淀井敏夫記念館—」は平成11年6月5日に開館し、まもなく20年経ちます。生前淀井氏は、故郷である旧朝来町が行っていた芸術を生かしたまちづくりに共感し、その生涯作品のほとんどを朝来に寄贈されました。そして、淀井敏夫記念館として開館しました。氏は「僕の彫刻だけを展示するのではなく、様々な企画展や芸術イベントを通して、作家同士が交流できるサロンのような美術館にしてほしい」と言われていました。そんな淀井氏が残し伝えた言葉を肝に銘じながらこれまで美術館運営に取り組んできました。その結果、作家や来場者がともに楽しみ、新しいものをつくる芸術交流の場として、今日の美術館の姿があります。「朝来らしい美術館」を創るきっかけを作った淀井氏の作品を可能な限り展示し、その作品を通して、氏が「これまで何を伝え、何を紡いできたのか…」をあらためて考える機会にしたいと思います。



## 人とアートの無限の繋がり1+1+1…展

〈会期〉**5月18日(土)～7月7日(日)** 〈会場〉**2階企画展示室**

あさご芸術の森美術館が開館して以来、多くの作家による様々なジャンルの企画展を実施してきました。また野外彫刻展・あさご芸術の森大賞展・あさごアートコンペティション等、多くの作家が参加し、朝来を訪れ、多くの作品を朝来に残してきました。

そこで美術館を核にして、作家たちが繰り返してきた芸術交流の軌跡を振り返るとともに、それぞれの今を、作品を通して紹介し、美術館を育ててきた作家同士の出会いにより、次へとつながる何かが生まれる機会になる事を期待し、本展を企画しました。それぞれの作品1が集まり、それらが積み重なってあさご芸術の森を作ってきたように、これからもそれぞれの1が積み重なって、これからのあさご芸術の森をさらに深化させていくことでしょう。



## PREVIEW—2019年度美術館展覧会予定—

※企画展・公募展の詳細な内容は随時チラシなどでお知らせします。

●淀井敏夫展～伝え、紡いだもの～ 〈1階常設展示室及び1階アトリエ室〉	5月18日(土)～7月7日(日)
●人とアートの無限の繋がり1+1+1…展 〈2階企画展示室〉	5月18日(土)～7月7日(日)
●はしもとみお木彫り展～森で見つけたどうぶつたち～ 〈2階企画展示室〉	7月13日(土)～9月1日(日)
●森の中から物語をつくる 〈1階アトリエ室及び芸術の森〉	7月20日(土)～9月1日(日)
●第8回あさごアートコンペティション優秀マーケット展 〈2階企画展示室〉	9月14日(土)～10月27日(日)
●学校厚生会但馬支部美術展 〈1階アトリエ室〉	10月17日(木)～10月22日(火)
●第15回全国こども絵画選抜展2019〈2階企画展示室〉	11月2日(土)～12月1日(日)
●アートホール神戸写真展 〈1階アトリエ室〉	12月7日(土)～12月22日(日)
●アート2020干支展「子」 〈2階企画展示室〉	12月7日(土)～1月13日(月・祝)
●～朝来からの風～ 朝展 優秀作品展 〈2階企画展示室〉	1月25日(土)～3月8日(日)
●友の会会員交流美術展 〈1階アトリエ室〉	2月22日(土)～3月8日(日)

# DEVELOPMENT

## 2018あさご芸術の森の歩み

- 1月6日～14日まで「2018干支絵手紙コンクール作品展」を開催
- 1月18日～23日まで「第13回全国子ども絵画選抜展巡回展」を開催／アートホール神戸
- 1月27日～3月11日まで「朝展2018優秀作品展」を開催
- 2月24日～3月11日まで「あさご芸術の森美術館友の会会員交流美術展」を開催
- 3月17日～5月6日まで「忍たま乱太郎の原画・忍者道具展」を開催
- 3月17日～5月6日まで「立原えりかのグリム童話絵本原画展」を開催
- 5月12日～7月1日まで「但馬地域博物館お宝大集合展」を開催
- 5月12日に入館40万人突破
- 6月3日に「ダム湖マラソン出張ワークショップ」を実施／CoCoDe前
- 7月8日に友の会清掃ボランティアを実施
- 7月14日に「フラメンコギターデュオ 池川兄弟コンサート」を開催
- 7月14日～9月2日まで「芸術の森のトレジャーボックス海洋堂フィギュア展」を開催  
会期中に海洋堂ワークショップ「恐竜絵付け体験」を開催
- 7月28日～29日まで「ひょうご博覧会in大阪」に参加、ワークショップを実施／梅田ロフト
- 8月1日～5日まで学芸員資格取得のための博物館研修で大学生2名が来館
- 8月3日～5日まで「アートDE遊ぼう」を開催
- 8月3日に「レザークラフト体験」を実施
- 8月4日～5日に「夏のチャイルドアートキャンプVol1」を実施
- 8月12日に「こっぴで好きに作っちゃえ!」を実施
- 8月19日に「木を使ってマ○ンクラフト!?!」を実施
- 8月25日～26日「夏のチャイルドアートキャンプVol2」を実施
- 9月15日～10月21日まで「第7回あさごアートコンペティション優秀作品展」を開催
- 9月29日～30日「秋のチャイルドアートキャンプ」を実施
- 10月15日に中川子ども園園児たちが窓口業務や展示業務等の美術館研修に来館
- 10月27日～28日まで「風と光のページェント 芸術の森のハロウィンナイト」を実施
- 10月27日～11月18日まで「アートでつなぐ鉱石の道・銀の馬車道の人と、未来へ展」を開催／友の会主催事業
- 10月28日「玉岡かおる講演会-銀の道に息づく記憶の遺産～ひとがいて物語をつむぎ歴史となった～」を開催／友の会主催事業
- 10月27日～11月4日まで「友の会会員交流美術展」を開催／友の会主催事業
- 11月8日～11月18日まで「手作り市展」を開催／友の会主催事業
- 11月10日～11日に「但馬まるごと感動市」に参加、ワークショップを実施／全但バス但馬ドーム
- 11月17日に「アートde元気ネットワークひょうごコラボレーション展」に参加／たつの市
- 11月17日に「藤原次郎写真教室-かたわらの情景を見つける-」を開催／友の会主催事業
- 11月17日に「清原幹雄講演会 みちの文化史～馬車道考～」を開催／友の会主催事業
- 11月18日に「芸術の森アートマーケット」を開催
- 11月23日～12月9日まで「第14回全国子ども絵画選抜展」を開催
- 11月23日～12月9日まで「花房完昇展-幻想の詩情-」を開催  
会期中に花房氏による「マチエールを作ろう」ワークショップを実施
- 12月15日に「兵庫稲美青少年少女合唱団クリスマスコンサート」を開催
- 12月15日～1月14日まで「アート2019干支展<亥>」を開催
- 12月12日～23日まで「第14回全国子ども絵画選抜展巡回展」を開催／加古川市民ギャラリー



8月／アートDE遊ぼう



10月／アートでつなぐ鉱石の道・銀の馬車道の人と、未来へ展



11月／アートマーケット



11月／手作り市展

## Voice

## みなさまの声

## あさご芸術の森に寄せる

## イチローの言葉に学ぶ

あさご芸術の森美術館前館長  
伊藤 照哉

「周りがとんでもない選手ばかりでも、あいつらは(自分と次元が)違うなど決して思わない。逆に僕がそう思わせてやる」このほど、「有言不実行でした」と言って、現役を引退した米大リーグ・マリナーズのイチロー。高い技術力に裏打ちされた、スピード感あふれる走攻守で、パワー一辺倒の米球界に新風を吹き込んだ。芸能人やスポーツ選手には、それなりの言葉を残す人がいる。イチローもその1人。2001(平成13)年ごろの取材にこう答えている。

博物館(美術館や水族園などもこの範ちゅうに入る)を取り巻く環境が変わってきた。大型量販店やコンビニなどが肥大化していくのと同様、大規模館はますます隆盛に、小規模館は元気がなくなってきた。

事業予算の削減、少子高齢化社会、趣味・娯楽の多様化、AIネット網の浸透などが絡み、先行き不透明感に対応しきれていないのが原因。評価しにくい芸術・文化よりも生活優先にはうなずけなくもないが、どの館でも費用対効果が問われ、入館者数でその成果を量る図式が定着してきた。

兵庫県内に約140館が点在するが、それぞれ自館を盛り上げる「成長戦略」の力のバラつきが垣間見られる。「知の集積」の厚みの差と言っている。その結果、「今・なぜ・この内容で」という基本的なコンセプト(趣旨)があいまいになってきている。淀井敏夫は「彫刻だけの美術館運営は難しい。様々な企画展や芸術文化活動を展開し、サロンのような美術館を目指して」と語ってはいる。が、それは「敷居の低い」ものではなく、やはり「知識の殿堂」としての博物館の矜持(きょうじ)＝誇り＝が感じられるサロンではなかったか。博物館人としての求心力を高めなければ、あさご芸術の森のブランド化は難しくなる。サロンのホスト(主催者)としての力量が問われる。

冒頭は、プロの野球人としてのイチローのプライド、あるいは気概がそう言わしめたもの。今、一度、かみしめてほしい。

## あさご芸術の森美術館友の会 会員の近況

- 藤本イサム…… ● 5月1日～10日まで自宅の「工房城ヶ鼻」と山のアトリエ「Free Space in おっぱら」の2会場で個展を開催。  
● 5月30日～6月9日まで熊本県「島田美術館ギャラリー」にて9回目の個展を行います。石彫や木のイス、遊具などいろいろ出展します。
- 磨野郁子…… ● 木になるアート作品展  
2018年12月19日(水)～2019年1月13日(日)アートギャラリー博宝堂  
● 独自性の追求  
2019年2月4日(月)～2月9日(土) ギャラリー菊  
● 「口覚反応実験展」 「モゾモゾ」  
2019年3月22日～3月27日 スペース妙  
● 「口覚反応実験展」 「ザワザワ」  
2019年5月24日～5月29日 スペース妙
- 大森梨紗子…… 4月6日～21日まで京丹波町のわち山野草の森にて「小さな森の展示室」を様々な作家と開催しました。5年間開催された「森の展示室」が大好評だったため、再び開催となりました。陶、建築、染、草、ガラス、絵画など様々なジャンルの作品が森にとけ合う風景となりました。  
<https://www.morinotenjishitsu.com>

# NEWS トピックス

ASAGO ART VILLAGE

## 美術館 クリスマスコンサート

あさご芸術の森美術館には、今年も素敵な歌声のクリスマスプレゼントが届きました。

冬の風物詩となっている、兵庫稲美少年少女合唱団のクリスマスコンサートを12月15日に開催しました。同合唱団は、朝来市出身の椿野伸仁さんの指導のもと、国内だけでなく海外でも多くの人を魅了するなど、その歌唱力は各所で高い評価をうけています。そんな美しく、澄み切った歌声がアトリエ室に響き渡ると、そこは別世界。来場者は時間を忘れ、ひとときの安らぎに浸っていました。

## 干支絵手紙コンクール開催 テーマは「亥・猪・いのしし」

干支絵手紙コンクールでは2019年の干支である「亥(い)」をテーマに、それぞれの夢などをさまざまな素材で表現した絵や書などの作品が、北は岩手県から南は沖縄県まで215人の皆さんから276点の作品が寄せられました。

力強く、ユーモラスな作品が多く見受けられ、新しい年のスタートにふさわしい力作がそろいました。今年も昨年に続き、美術館と生野メインホールで展示を行いました。

厳正な審査の結果、選ばれた入賞・入選者は以下のとおりです。

■干支絵手紙コンクール受賞・入選者  
(敬称略・順不同)

- ◎グランプリ…宮地政弘(奈良県三郷町)
- ◎優秀賞…西村圭織(豊岡市)  
池田まゆみ(養父市)
- ◎奨励賞…西岡きみ代(香美町)  
今枝房子(西宮市)  
福本婦美子(朝来市)



グランプリ・宮地政弘さんの作品

- ◎ユーモア賞…中道夢心(奈良県河合町)
- ◎がんばったで賞…山西多加(神戸市)
- ◎ほのぼの賞…岩崎菜々(奈良県河合町)
- ◎あじわい賞…古屋知花(朝来市)
- ◎ミステリアス賞…西村夏海(豊岡市)
- ◎美術館賞…角本 勝(相生市)
- ◎上地賞…二見忠義(神戸市)
- ◎椿野賞…吉成武子(神奈川県横浜市)
- ◎南光賞…谷口真衣(朝来市)
- ◎入選…杉谷 馨(京都府宮津市)  
二宮叶多(栃木県足利市)  
大山聡美(神戸市)  
西岡節子(神戸市)  
片岡重和(大阪府高槻市)  
山下大空(奈良県河合町)  
岸 一生(大阪府大阪市)  
谷口真緒(朝来市)  
上地芳江(朝来市)  
立岩昭子(神河町)  
浅倉 伸(岩手県盛岡市)  
上垣弘子(養父市)  
関 隆則(京都府京都市)  
柴山希美子(神戸市)  
井上晴雄(豊岡市)  
おおばたかし(豊岡市)  
杉谷孝博(京都府宮津市)  
田中ますみ(大阪府高槻市)  
河津知佳(丹波市)  
岡田正行(朝来市)  
藤澤康子(香美町)  
青田真子(朝来市)  
古屋美空(朝来市)  
河野文音(姫路市)  
村上 鈴(姫路市)

- 田村すみ糸(朝来市)
- 高田怜奈(養父市)
- 上野快維(養父市)
- 奥 耀生(養父市)
- 五十嵐冴宇(養父市)
- 足立桜彩(養父市)

## バルビゾン村長一行が 美術館を来訪

朝来市と2008年に覚書を交わして「芸術文化交流」を行っているフランス・バルビゾン村から、フィリップ・ドゥース村長と夫人のパスカルさん、同村部長のヴィルジニ・ディ・ナポリ・ブイエさんが、2月5日から11日までの日程で初来日。6日から8日まで、市役所訪問や、市内各所の見学、今後の事業について関係者との打ち合わせなどを行うため、朝来市に滞在しました。

あさご芸術の森美術館では、7日の午前中に一行を迎え、美術館の見学や芸術交流事業の打ち合わせのほか、水墨画制作も体験してもらいました。淀井敏夫の常設作品展や朝展優秀作品展などを鑑賞。また、水墨画体験は、村長らが、それぞれ思いのまま和紙の上に数か所墨を置き、そこから、平面造形作家・椿野浩二氏が即興で、「コイ」「ツバキ」「竹」の絵に仕上げていきました。見事な出来栄に、それぞれとても満足な様子でした。

今年度、4月23日から29日まで、バルビゾン村の学生2人が朝来市を訪問、滞在する予定です。また、バルビゾンとの交流10周年記念事業として「朝来・バルビゾン交流写真コンテスト」も計画。今後ますます、互いの交流が活発になることが期待されます。



水墨画を体験。即興で「日本」を感じさせる作品が完成しました。

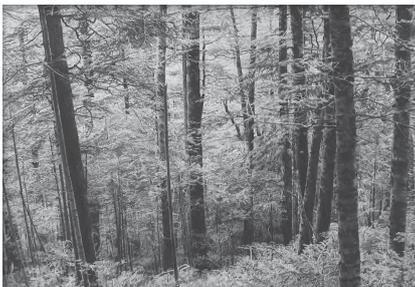
## 朝展2019開催

市展「～朝来からの風～朝展2019」を開催しました。平面・立体・工芸・書・画・写真の4部門で作品を募集したところ、6府県172人から、それぞれ平面36点、立体・工芸19点、書・画28点、写真91点の合計174点の作品が寄せられました。1月21日に書・画、22日には平面・立体・工芸、写真を審査、入賞・入選102点が選ばれ、1月26日～3月10日まで、2階企画展示室で展示しました。

入選・入賞者は以下のとおりです。(敬称略)

### ●絵画部門

大賞…釘貫正人(朝来市)  
 準大賞…西村ちはる(京都府福知山市)  
 奨励賞…植村秀喜(豊岡市)  
 教育委員会賞…野崎武司(朝来市)  
 文化協会賞…竹村一博(豊岡市)  
 友の会賞…大森梨紗子(朝来市)  
 入選…瀬崎研治(豊岡市)  
 國米政孝(岡山県岡山市)  
 中村清次郎(朝来市)  
 村上孝志(京都府福知山市)  
 米田三枝(姫路市)  
 上野 都(三木市)  
 山居茂樹(豊岡市)  
 北尾江里子(朝来市)  
 磯部悦子(埼玉県飯能市)  
 大畑晃二(京都府福知山市)  
 上村督正(朝来市)  
 井上 晃(朝来市)  
 田中たみよ(京都府京都市)  
 前中一太地(西宮市)  
 田中敬二(島根県大田市)  
 諏訪正和(朝来市)  
 浅田多喜夫(豊岡市)  
 岡本千賀子(豊岡市)  
 上仲葉音(朝来市)  
 平位紘豊(朝来市)



絵画部門大賞「山歩きの中の風景」

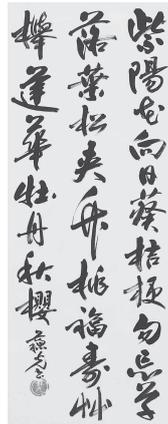
### ●立体部門

大賞…荒山浩文(篠山市)  
 準大賞…井上武士(姫路市)

奨励賞…岡西 茂(京都府福知山市)  
 教育委員会賞…毛利 克(養父市)  
 文化協会賞…花城正明(京都府福知山市)  
 友の会賞…山根亮二(朝来市)  
 入選…平石 忠(京都府福知山市)  
 衣川義和(京都府福知山市)  
 足立律子(京都府福知山市)  
 竹村一博(豊岡市)  
 澤田千秋(市川町)  
 田中ひろや(丹波市)  
 西岡良和(岡山県岡山市)  
 南 三四郎(京都府福知山市)  
 中尾健二(養父市)



立体・工芸部門大賞「花降る日Ⅱ」



書・画部門大賞「紫陽花」

### ●書・画部門

大賞…谷口蘇光(京都府福知山市)  
 準大賞…池田まゆみ(養父市)  
 奨励賞…佐藤佳代(朝来市)  
 教育委員会賞…石原陽菜(朝来市)  
 文化協会賞…広川紫峰(豊岡市)  
 友の会賞…河本友里奈(豊岡市)  
 入選…久次米 雅(加古川市)  
 藤原嘉昭(朝来市)  
 谷口恵光(京都府福知山市)  
 野村葉光(京都府京丹後市)  
 藤澤美月(香美町)  
 奥山果那(朝来市)  
 橋本理子(豊岡市)  
 篠岡 雅(朝来市)  
 田中音々(香美町)  
 西田亜実(養父市)

中尾 萌(養父市)  
 松本希月(朝来市)  
 上垣妙子(養父市)  
 田村美千代(養父市)  
 上垣弘子(養父市)  
 三方一美(養父市)

### ●写真部門

大賞…赤松博文(姫路市)  
 準大賞…馬場和正(三田市)  
 奨励賞…小川 稔(豊岡市)  
 教育委員会賞…古林邦夫(豊岡市)  
 文化協会賞…竹内美知子(豊岡市)  
 友の会賞…山本一郎(養父市)  
 入選…桑田孝史(朝来市)  
 白木文枝(京都府福知山市)  
 田中武男(養父市)  
 加藤昭代(三田市)  
 寺山欽吾(京都府福知山市)  
 山本泰蔵(新温泉町)  
 入江良一(豊岡市)  
 橘 喜代子(豊岡市)  
 大地洋次郎(京都府福知山市)  
 藤原俊郎(神河町)  
 上山典雄(京都府福知山市)  
 梅原成元(京都府綾部市)  
 井上信行(朝来市)  
 ゴアラン チボ(養父市)  
 古川五夫(豊岡市)  
 加藤輝昭(京都府福知山市)  
 中井成子(豊岡市)  
 伊藤章恭(朝来市)  
 堀島信之(京都府福知山市)  
 廣瀬昇司(丹波市)  
 沖泉義光(養父市)  
 前平照雄(豊岡市)  
 古林京子(豊岡市)  
 谷口俊一(豊岡市)  
 中尾幸郎(養父市)  
 岡本律子(京都府福知山市)  
 柳田邦夫(朝来市)  
 黒坂清乃(豊岡市)  
 穂田茂樹(京都府福知山市)  
 朝倉征夫(朝来市)  
 竹下重一(養父市)  
 山内きみ子(京都府福知山市)  
 田中照晃(豊岡市)



写真部門大賞「泣き相撲」

# スケジュール 2019.4 → 2019.7

## ASAGOARTVILLAGE

月	日	曜	内 容	対 象	期間・時間など	掲載ページ
開催中			五十嵐健太写真展～飛び猫・フクとマリモ・ねこ禅～	一 般	5月6日まで	2
			野外彫刻の軌跡展	一 般	5月6日まで	2
5	18	土	淀井敏夫展～伝え、紡いだもの～	一 般	7月7日まで	3
			人とアートの無限の繋がり1+1+1… 展	一 般	7月7日まで	3
7	13	土	はしもとみお木彫り展～森で見つけたどうぶつたち～	一 般	9月1日まで	
	20	土	森の中から物語をつくる	一 般	9月1日まで	
	未定		アートDE遊ぼう	一 般		

## 館長お薦めミステリー(最終回)

## 「博物館のファントム 箕作博士の事件簿」

### 宮沢賢治と鉱物の関係性を解く

「開けずに中身を調べてほしい」。東京・国立自然史博物館に、少年陸が、はがき大の古びた木箱を持ち込んだ。ふたには「開封厳禁」呪いのルビー 和賀〇八KM」と書かれている。

同博物館の研究職に就いた池之端 環は、標本収蔵室に足を踏み入れたとたん、びっくりする。コンピューターオタクで根っからの片付け魔の環。収蔵室は倉庫同然。整理しなければ資料としての価値がない。「何をしている。ここでは、どんなものも絶対に捨ててはならない」。背後から男の声。通称「ファントム」、この室の主、博覧強記の箕作 類だ。あだ名は「オペラ座の怪人」からきているらしい。

ある日、収蔵室の標本箱から鉱物が持ち去られた。トルコ石、トパーズなど11個。先日にも、イベント開催中に琥珀(こはく)、水晶など5個がなくなった。これらは、陸の曾祖父が寄贈した鉱物コレクション。

和賀とは、〇八とは、KMとは—箕作は、陸の曾祖父の出身地が岩手だと聞き、解く鍵は「宮沢賢治」と思い当たる。

環を介して、博物館の機能と役割、鉱物や宮沢賢治などそれぞれに、箕作の博学ぶりが紹介され、読むにつれ、そうだったのか、と得したような気分になる。「どんなものも…」が最後の決め台詞(せりふ)。

この「呪いのルビーと鉱物少年」のほか「ベラドンナの沈黙」など6編収録。

(集英社文春文庫・600円+税)



あさご芸術の森美術館

ASAGO ART VILLAGE

〒679-3423 兵庫県朝来市多々良木739-3

TEL(079)670-4111 FAX(079)670-4113

http://www.city.asago.hyogo.jp/

E-mail : art-village@city.asago.lg.jp

